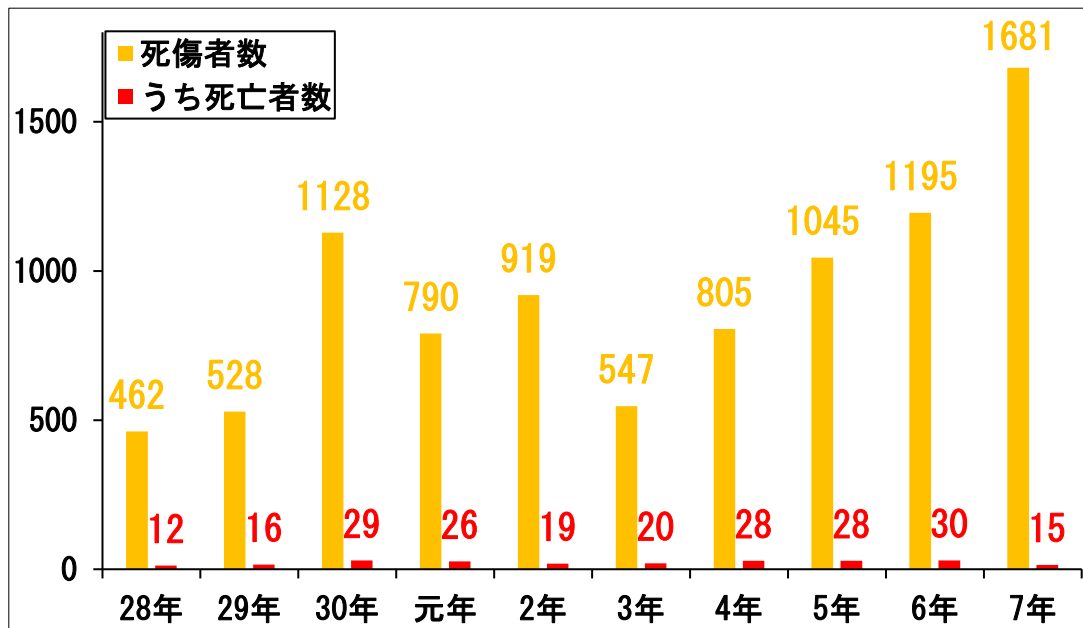


参考資料2 全国における熱中症の発生状況（令和7年12月末速報値）

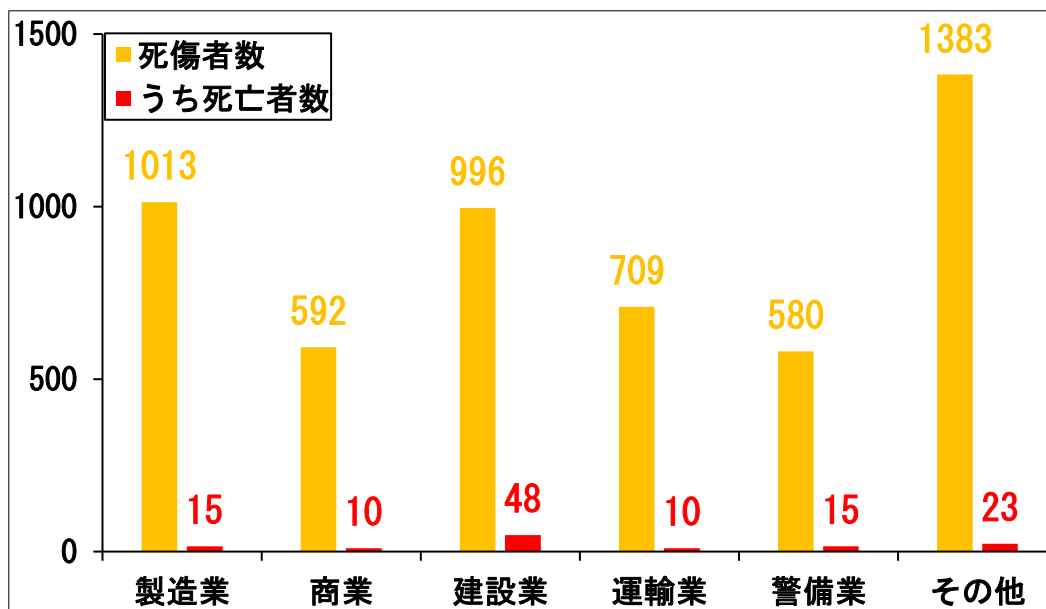
1 熱中症による労働災害の経年推移



出典：労働者死傷病報告

令和7年の全国における熱中症による死傷者数は1,681人と、死傷者数について統計を取り始めた令和17年以降、最多となった。うち死亡者数は前年同期比で50%減少した。

2 過去5年間（令和2年～令和6年）における熱中症の業種別発生数

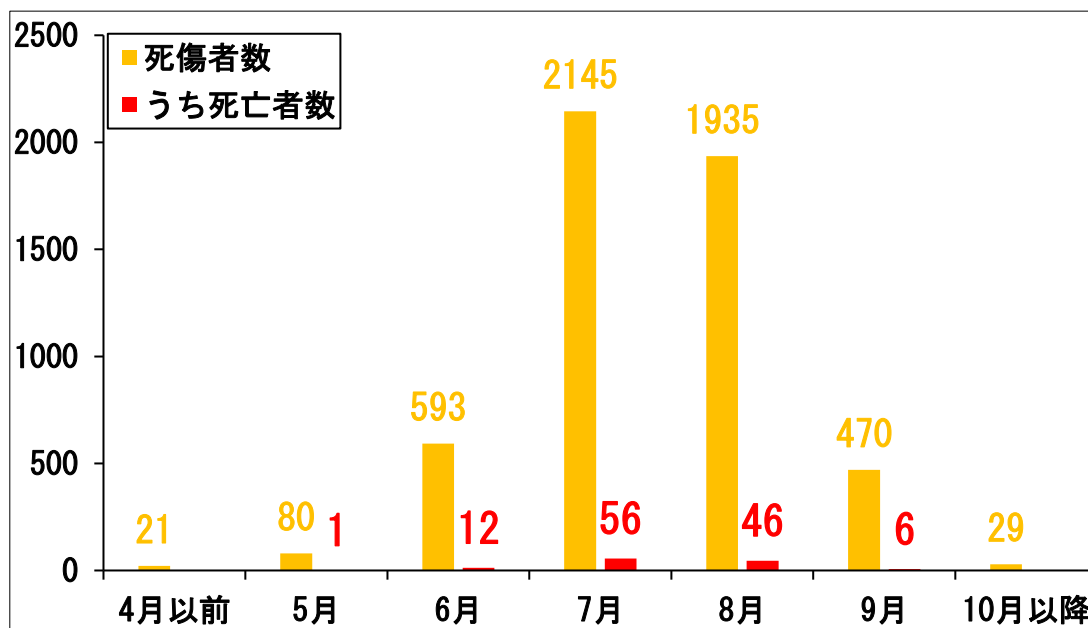


出典：労働者死傷病報告

過去5年間に発生した熱中症の死傷者数について、業種別で見ると、死傷者数は製造業、建設業の順で多く発生しており、死亡者数は建設業、製造業の順で多く発生している。

いずれの年もこの2業種で死傷者数は約4割を占めているが、死亡者数は年度により割合にばらつきがあり、約4割から約6割程度を占めている。

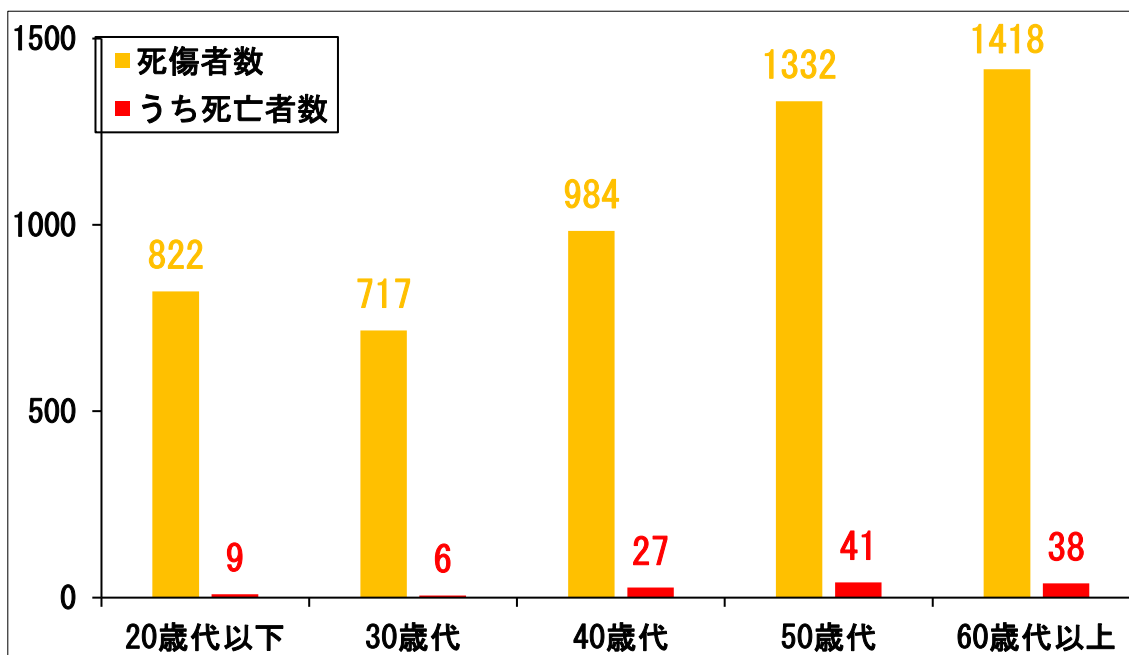
3 過去5年間（令和3年～令和7年）における熱中症の月別発生数



出典：労働者死傷病報告

過去5年間の熱中症による死傷者数、死亡者数を発生月別に見ると、全国においても、気温の高い7～8月にかけて集中している。

4 過去5年間（令和2年～令和6年）における熱中症の被災者の年齢別発生数



出典：労働者死傷病報告

過去5年間の熱中症による死傷者数、死亡者を被災者の年代別に見ると、全国においても、年齢層が上がるに連れて、発生数が増加する傾向があるが、一方で、20歳代以下の年齢層においても一定数発生があり、熱中症は年齢にかかわらず、すべての年齢層で発生している。